

## 桐生市緑化推進大会「緑の少年団」代表児童が参加

6日(土)に桐生市中央公民館で、桐生市みどりと花の会が主催する「緑と花と笑顔のまち桐生」をテーマにした第43回桐生市緑化推進大会が開催されました。

相生小学校からは、「緑の少年団」の代表として飼育栽培委員長のM・Nさん(6年2組)が参加しました。大会では、市内全小学校の緑の少年団代表児童による「緑の誓い」がおこなわれ、松井さんも他校の代表児童と一緒に団旗を持ってステージに上がりました。また、緑と花のポスターで銀賞を受賞したM・Aさん(6年1組)の作品が他の入賞作品と一緒に展示されていました。

相生小学校では、これからパンジーの栽培を始めます。卒業期の学校が色とりどりのパンジーの花で華やかになることを楽しみにしています。



## 10月2日(火) 全校朝会「夢の実現」

1学期の終わりに皆さんに学校生活アンケートをおこないました。その中の「夢」についての設問に「わたしは夢を持っている」と答えた人が全校で90%近くいました。相生小学校の教育目標は、「夢に向かってがんばる子を育てる」です。自分の夢をしっかりと持っているからこそ、夢の実現に向けてがんばることができますよね。

そこで、今日は、「夢の実現」ということについて話をします。相生小学校を卒業した男の子の作文をひとつ紹介します。

「ぼくは、6年生のとき桐生市の野球大会は全部優勝した。県大会にも出場してそこでも優勝をした。そして6年生の最後に西武ライオンズJrに選ばれた。」

小学校の卒業アルバムにこういった書き出しで「将来の夢」を綴ったのは、この夏の甲子園でベスト8になった浦和学院野球部のキャプテン、蛭間拓哉くんです。蛭間くんは、作文の続きに中学生、高校生になった時の夢を詳しく書いています。

「中学では、自主練習をがんばり、県大会で準優勝をしてホームランを通算30本打つ。高校では、甲子園に出たいという気持ちで練習をいっぱいやり、その結果、春夏出場して両方とも優勝をする。そして、U18WBC日本代表に選ばれてホームランを3本打ち、準優勝をする。」

この夏、蛭間くんは甲子園に出場して、みごとにチームがベスト8になりました。そして、日本代表にも選ばれて、スタメンでレフトのポジションを守り、活躍しました。100%とはいかなかったと思いますが、大好きな野球で素晴らしい活躍をして限りなく夢の実現をしたことは間違いありません。

蛭間くんは、自分の夢を実現するために、家族から離れて埼玉県の高校に進学しました。だからと言って、そう簡単に甲子園には出場できません。1年生の時も2年生の時も、県予選で敗れています。それでも、あきらめない強い心を持ち、努力を重ねて、3年生の最後のチャンスで夢を実現させたのです。正に、「継続は力なり」の大切さを教えてくれた素晴らしい先輩ではないでしょうか。皆さんも、いろいろな夢を持っていると思います。その実現のために、今がんばることを見つけ、強い心をもって、続けて取り組んでほしいと思います。

蛭間くんの作文の終わりには、更に夢の続きが書かれています。

「自分は甲子園で活躍したから、ドラフトに名前が挙げられ、西武、日本ハム、ソフトバンク、阪神、中日、巨人の6球団から指名される。そして、西武ライオンズが当たりくじを引く。プロでは、新人賞、首位打者を取り、日本一になる。」

将来、プロ野球というひとつ上のステージに立ち、更なる夢の実現を目指す皆さんの先輩を応援したいと思います。皆さんも、良き先輩の努力の姿を見習って、ぜひ自分自身の夢の実現を目指して、成長して行ってほしいと思います。

